

令和 7 年度 地域包括支援センター運営協議会 議事録

I 日時：令和 7 年 8 月 8 日（金）

II 場所：東灘区役所 31・32 会議室

III 議題

- 1) 令和 6 年度あんしんすこやかセンターの運営状況について
 - (1) あんしんすこやかセンター月別実績報告
 - (2) あんしんすこやかセンター連絡会等の実施状況
- 2) 令和 7 年度あんしんすこやかセンター事業計画について
- 3) 特定事業所へのサービス集中率について 《非公開》
- 4) 地域包括ケア充実のための地域活動計画について 《非公開》

IV 当日出された主な意見・質問および事務局回答

議題 1

（委員）緊急対応が増えたのはなぜか。

（事務局）近隣・協力事業者、ヘルパー等の事業者による通報が増えたためと思われる。
あんしんすこやかセンターによる見守り、ボランティア等ネットワークの中で発見され、緊急対応につながっている。日々のあんしんすこやかセンターの見守りによって発見につながったケース（もともと家族がセンターに相談に来ており、日々気にかけていたケースなど）もある。

（委員）高齢者虐待について、東灘区で減少しているのは何か効果があったのか

（事務局）虐待が起こる前に対応しているケースも増えてきている。例えば、近隣通報で大きな声が聞こえるなどといった場合、虐待となる前に適切なサービスにつなぐなど、連携を取りながら支援しているケースもある。

（委員）成年後見制度に関する広報啓発活動が弱まっているのではないか（一時期はかなり広報啓発活動を行っていたように思う）

（事務局）地域活動計画でも成年後見制度に関する啓発活動を挙げているセンターもある。区としてもまだこれから更なる広報啓発が必要であると感じている。

（委員）時間外の対応について減少傾向。働き方改革や人手の問題はあるが、時間内に活動する取り組みをしているのか。

（事務局）早めの対応や報告を行っている。通報自体も時間内に行われている傾向かと思われる。法人として取り組む姿勢もあるかもしれないが、必要なケースは時間外でも対応を行っている。

議題 2

(委員) 病院の入院患者の約半数が高齢者。認知機能が低下している患者も多く、ACP についてなかなか進まない。成年後見制度について、申立てても時間がかかるため、是非広報啓発活動を進めてほしい。

(事務局) あんしんすこやかセンターにも広報啓発活動に一層取り組むよう伝える。

議題 3 (非公開資料)

質問なし

議題 4

(委員) 地域団体の代表として参加しているが、地域の課題に対するコメント欄が地域住民に対して上から目線である(乏しい、理解がないなどの表現)。このような目線で、地域と一緒に高齢者の支援ができるのか、疑問である。表現の方法を注意してほしい。

(事務局) 表現方法については精査する。日々の活動については上から目線で対応しているわけではないことをご理解いただきたい。

(委員) 自治会活動の立場から、長期的な課題として、メインのメンバーが 75 歳を超えており、なかなか後継者が見つからない。危機迫った状態である。今のこども世代は高齢者とともに生活した経験もなく、高齢者を支えるという意識はないのではないか。啓蒙活動について、小学校で何かをする、こども会の活動に高齢者を盛り込むなどして高齢者がこども世代を見守る、こども世代が高齢者を見守るという相互関係を作る必要があるのではないか。下の世代への啓蒙活動も今後の計画にも盛り込んでほしい。

(事務局) 児童館で寸劇を行ったり、高校生世代に周知啓発しているあんしんすこやかセンターもある。今後も啓発活動を広めていきたい。

全体を通して

(委員) あんしんすこやかセンターの数はこのままか。受け持ち圏域の見直しはしないのか。(圏域が広すぎるため最寄りのあんしんすこやかセンターが遠い、あんしんすこやかセンターのある場所が偏りすぎているように感じる。過疎地のようなところはどこに相談に行けばいいのかわからない。近くに相談に行っても圏域ではないと言われてしまうことがあるのではないか。圏域の地域特性が似たようなところで組み合わせる等、実態に応じて再検討してもよいのではないか。)

(事務局) 来年度の公募に向けて、本庁にも報告する。

圏域については西区・北区でもかなり広域になるが、訪問型の支援で対応しているところである。圏域の外に事務所を構えているあんしんすこやかセンター

もあるため、こういった意見もいただいたということは報告する。